

佐賀県のカンキツ栽培における害虫防除 ～ミカンハダニの問題を中心として～

口木 文孝 氏
(佐賀県果樹試験場)

日時：2011 年 12 月 5 日（月）16:30 頃～18:00 頃

会場：明治大学生田キャンパス 中央校舎 0311 教室

ミカンハダニは、カンキツ、特にハウスミカン栽培では最重要害虫です。ところが、薬剤抵抗性の発達が早く、ほとんどの殺ダニ剤の効果が低下してしまっています。そこで、従来のような殺ダニ剤のほか、ダニが呼吸できないように気門を覆って防除する剤や天敵であるカブリダニ類を用いた防除への取り組みを行っていますので、その内容を紹介します。

あわせて、佐賀県で取り組んでいる温州ミカンの減農薬栽培への取り組みのほか、近年の害虫の発生動向や、昆虫類の発生状況の変化等についても紹介します。

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享
(5号館 208、内線 7810)